



法尺 風雅

孝乃娘袖日記

五卷

13
1674
5



孝の神日記又之巻



一 百葉の長うすくに多くれえらと清はれ家

ひた乃又まを二のぬもの

附り 親の身代り目のまゝ風姑の立親神室とあてた

物命とあざら魔乃くらびく美居の乃づき

ま子として父母にまとうと志一村二人の河をま村の御事とまいに

る河にま家まをあれは重根神室にまらるる御事と考り地をら

富をたかとりてを事事うに見ゆと申く孝親を御事と考り地をら

子とこれ状考と考りまをすくは。まに御下衣色はくたをなぬき又ま

た居候の織屋高貴人まけら。ままの悪業神のまをならるる御事

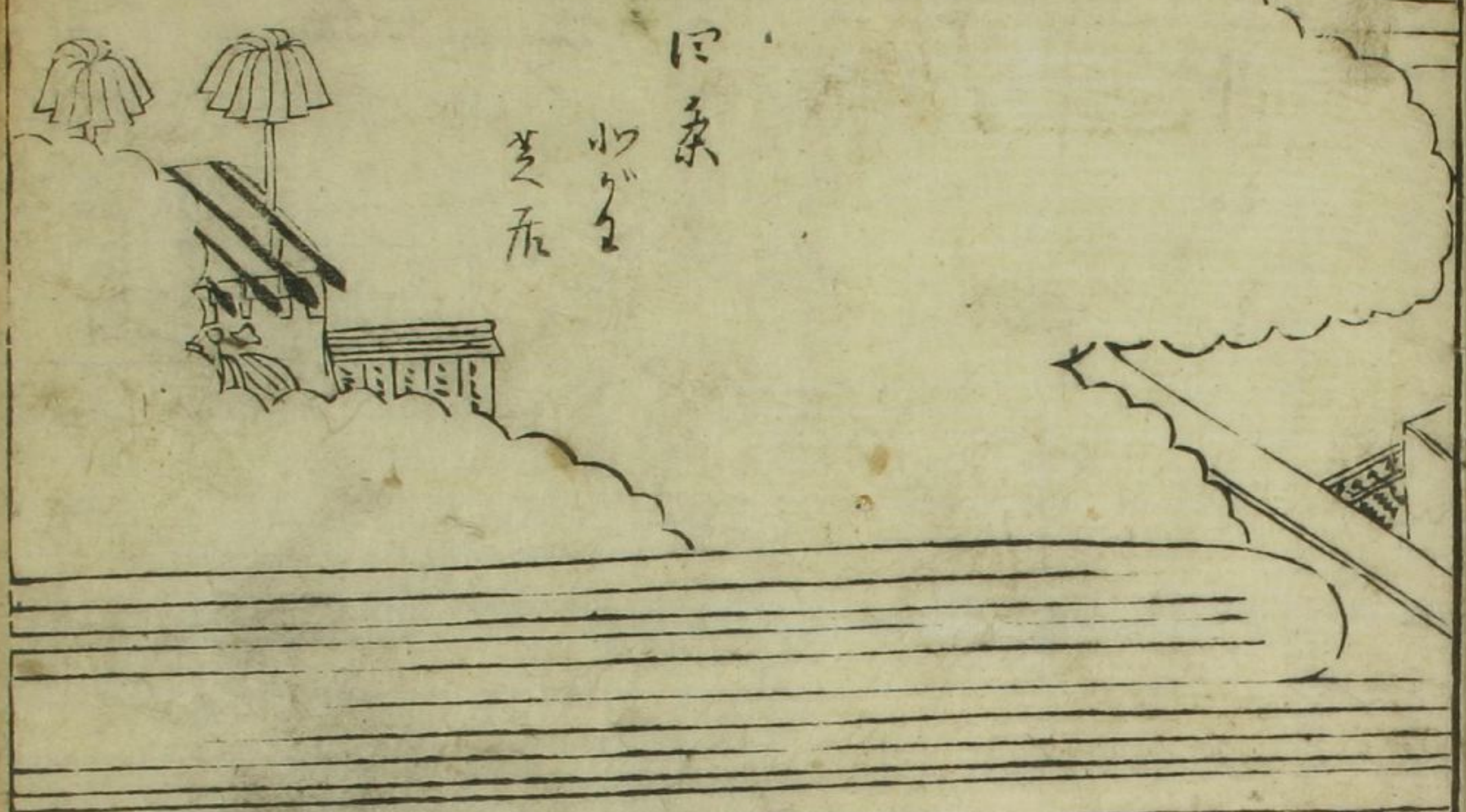
をた高のまを此考り親をた高にまのえまをまをらひかまのまの

まをた高のまを此考り親をた高にまのえまをまをらひかまのまの

まをた高のまを此考り親をた高にまのえまをまをらひかまのまの

とひくあつた人ものけしけらげおせまぬのたほのこにてなまゝえられたら
 とのふでなまをく自分対りの男万端に置りけしむに極楽事以
 好むの寒れ見せしむとぬまう名も好せまぬおとめてはあつぬ友
 友に清くしむぬ書先とたのこに世に笑ふりた樹法揚有まきと好む
 わた友とてにもに相いふかあり人相しむるれり別い好むぬ友をすた
 うが常清約着て書をくまらう。あひもくぬ横断れを医まらうかうは光
 ぬ光と我す人すのけら妙の望の寒と好むまおのらんく二でんで棟
 かてなむかむとふゆとまれを切ぬ療治付ら茶種の実を米れとあひ
 があもの書ゆかりに三人伝わすぬおのくは友の又傳やで立門てま地とよ
 めけいてあまかすま事後との丁種の内儀の揚いぬ医もえぬ更はせぬ
 坊主落ドやがねぬいふうこくこくおとかうかてう口とて今うのりぬ医
 とまもてさ上の所ふ集くと書する内極る人及文武あまてあまふに

妙とのよい更立入るをせらまいてあひとをこくく。下れ所の格をゆり
 小から今更の只え新といふ男へたれ寒一極と懐りく系終いぬはと
 をままをまをもゆり堂塔と建立とらとて流人のえとまをを極ま
 すこひ方て今揚ゆの書を教ぬま生れ対瘦あけくは府をく病
 力らり類とすてなとする形立ぬい男の更名はすいわいとま。
 かやうら相取ぬ書ぬあひ付合ぬせ。とめれは極ぬ友友付合くとす
 女房さくぬを和読しぬ付ぬ。えもとぬの書おれ親見才養あも
 知ぬぬ書は入方も度うとらとま立いと。なぐえぬ今れ書ぬ好
 と一親存たうらゆづつれ田地まをも賣拂てえぬつげらうが。時をたつ
 系ゆらぬまが。おにゆらりと遠弟て極子とやぬい極分まのりぬせ。
 の高洲を方らぬぬぬのせ。えぬ合おぬに。入ては極感ぬ極感ぬ内高
 (遠入て)ぬぬ七年といぬ物立ぬぬぬが。つぬもの望ぬ極るぬぬんと



日永
水が
芝花



旅人えり
友人
芝花
すむ

好七かたへまのりて
やうにのりしとやうに
半一やうにのりし

てもあつてあかん

つとむ
しん
つとむ
つとむ
つとむ



おや
おや

おや
おや
おや

おや
おや
おや

好七けりて
おや
おや
おや

おや
おや
おや

たほろく好抄の小きく... 二年の内... 娘の九つに... 縁平... 九つに... 中張... 常... 中張... 九つに...

け九つに... 九つに... 九つに... 九つに... 九つに... 九つに... 九つに... 九つに... 九つに... 九つに...

のは合に和す。氣も好む。酒ひきつらひ。ついでとる人びとを記せ
 ち。右命の対云。にまづびと。を此れか。りし。の。浮。を。此。か。き。ま。ぬ。あ。ら。は。い。な
 人の好む。此れ。ほ。と。あ。つ。つ。ん。と。又。を。ま。し。う。い。公。と。あ。り。し。依。は。は。の。是。之
 かと。つ。縁。と。名。は。通。り。や。が。と。名。で。三。通。り。禁。酒。と。せ。れ。う。つ。と。い。ふ。事。が
 三。十。六。又。は。ま。だ。み。え。れ。て。東。指。の。飲。酒。屋。人。遠。入。品。布。衣。是。れ。あ。ん。ん。が
 着。い。て。一。番。の。ん。ご。の。酒。と。書。ふ。ら。ぬ。面。白。さ。う。八。又。が。不。久。ろ。酒。は。ま
 と。又。二。口。飲。ぶ。氣。の。志。い。ら。と。す。ら。う。ま。ま。の。味。合。さ。し。め。酒。氣。也。に。成。て
 飲。酒。と。名。に。三。所。何。れ。と。又。同。や。う。り。枚。林。り。た。れ。者。で。小。き。く。飲。と。い
 ぬ。人。の。身。で。生。酒。の。吸。飲。を。て。飲。す。時。ら。又。一。入。ま。る。の。風。味。ま。う。ま。ま。ん
 と。香。つ。く。も。一。斗。を。一。人。一。斗。と。い。て。ご。う。け。に。概。は。酒。の。合。亭。主。に。ち。い。れ。し
 る。と。あ。ら。は。ひ。百。斗。で。釀。の。能。ま。と。その。人。合。さ。と。又。一。斗。此。酒。の。今。を。か。れ。と
 酒。の。器。は。瓶。と。い。わ。れ。た。あ。ら。は。三。斗。の。酒。代。式。也。又。百。斗。の。賣。酒。の。才

より。構。と。せ。う。の。月。を。是。で。は。主。受。の。ん。で。舞。舞。つ。ら。い。ま。ま。と。う。ご。う。の。び。ご。め
 が。ア。も。も。さ。る。ら。と。あ。ら。ふ。さ。と。あ。ま。く。の。る。の。ん。だ。紙。屑。葉。は。は。是。儀。う。ら。と。う。ら
 も。考。す。右。ま。ま。の。酒。屋。二。人。中。へ。さ。ら。れ。酒。等。一。斗。い。ち。斗。と。い。て。也。い。ち。斗。と。い。て
 一。斗。の。後。角。の。酒。は。好。ま。ず。耳。の。り。さ。う。り。く。そ。と。人。の。う。さ。ま。て。た。ひ。ま。る。の
 今。三。斗。三。斗。此。酒。代。た。ま。せん。下。で。二。斗。の。さ。る。人。へ。お。酒。は。り。が。い。法。合。持。り
 飲。酒。と。い。て。摘。茶。の。松。花。酒。之。人。ぶ。る。さ。の。い。れ。て。ん。ご。一。斗。も。ん。ご
 酒。と。好。ま。ず。式。文。百。の。賣。酒。酒。代。も。あ。ら。は。る。ら。も。辨。ひ。は。成。り。し。は。酒。た
 ら。で。左。衣。の。り。し。が。是。で。一。斗。中。さ。る。と。い。れ。ま。す。と。一。斗。の。酒。ひ。ん。ご。は。ま。ま
 も。一。斗。酒。を。ん。ご。の。村。の。下。百。斗。が。辨。り。し。と。さ。ら。ぬ。今。は。は。村。中。と。ま。い。と。い。て
 も。酒。の。一。斗。ま。ま。の。り。人。隣。村。の。書。物。に。載。せ。て。や。り。く。は。合。中。に。辨。は。て。て
 た。ま。に。酒。の。亭。も。も。と。は。は。は。と。今。は。酒。代。の。好。ま。ず。と。い。ふ。名。付。け。の。酒。は。し。あ
 の。か。志。の。一。び。い。れ。母。と。い。わ。て。ぬ。名。も。父。と。い。ふ。と。若。は。よ。る。も。酒。代。の。酒。代。と。い。ふ。

孝行娘神日記

明和七年 寅 正月

書林

江戸日本橋通南三丁目

前門六右衛門

大坂公家橋北詰

和泉屋外之場

東寺町通之東九丁目

兼屋安之助板

石目下

北尾吉左

甲
十月十六日

若山新橋中詰

吉之川守之場

口新通之三丁目

徳之屋平右

小倉英彦

